

20170813「約束の子イサク」

目標： アブラハムにイサクが生まれた経緯から、神がアブラハムとサラに与えた大きな慰めを知る。

聖書箇所：創世記18：1-15、21：1-7 時間：10分

暗誦聖句：「主にとって不可能なことがありますか」（創世記18：14）

道具： ホワイトボード、ペン

対象者： 中3×1 中1×1 小6×1 小5×3 小3×1 小2×1 小1×2 未就園児×2

留意点： イサクの名前の意味を踏まえ、神がサラの「笑い」の内容を変えて下さったことを軸に話を進めていく。

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	アブラハムとサラの夫婦には、一つの悩みがありました。 何だと思いませんか？ 今でも、子供がほしいのに与えられなくて寂しいという夫婦の話を聞きます。	<ul style="list-style-type: none"> ・子供がいない ・解らない ・お金が無い 	<p>アブラハムが先週登場した人物であることを踏まえる。</p> <p>以前学んでいるので、正答が出る可能性は高い。でなければ教師側から提示する。的外れな答えについては、軽く応答するだけで良い。</p> <p>大人もいるので本来は配慮が必要なところだが、一般論としてその寂しさを挙げ、すぐ次に繋げる。共感を持たせる事がポイントである。</p> <p>アブラハムは、子供の問題はすぐ経緯に拘わる問題だったので、人一倍子供のことが気に掛かっていた。アブラハム独特のポイントである。共感を足がかりにアブラハムの状況に共感を意識させたい。</p> <p>現代の90歳を考えさせると、約束の成就の困難さを認識できるだろう。</p> <p>アブラハムの歓待から、神（の使い）であることを意識させておきたい。</p> <p>生き生きとした描写で表したい。</p> <p>暗唱聖句をここで絡め示したい。</p> <p>ここで、老夫婦が信仰を持って性交渉を持とうとしたことこそ大変重要だと思うが、対象年齢を考慮し、割愛すべきである。</p>
課題探究	6分	ましてアブラハムには、神様から、自分の子孫から救い主が出るとの約束を得ていたのですから、なおさらです。 アブラハムが99歳でサラが90歳の時、3人の人が来訪しました。 彼らはアブラハムに、来年の今頃には子を抱いているよと預言されます。 サラは笑い、神の人に、なぜ笑うのかと問われてしまいました。 実際サラは子を宿し、1年後に、子供のイサクを抱くことになりました。 サラは、自分が1年前の笑いの意味の全く違う笑いを戴いたことに気づきました。 この子供の名前のイサクは、「笑い」という意味なのです。 このイサクの子孫から、私達の救い主のイエス様が生まれます。		
まとめ	2分	神様は、イエス様と繋がっている私達に恵みの約束をしてくださいます。それは、将来かならず実現します。神様は恵みの方だからです。 暗誦聖句		